

泰明だより



Taimei・平成 29・6

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第321号
中央区銀座五丁目1-13
Tel 03(3571)1765
Fax 03(3571)0672

泰明小学校開校に思うこと

校長 和田 利次

先日、プールサイドで水抜き作業を始めようとしたところ、水面に空と雲と学校と学校を取り囲むビルのシルエットが映っておりました。泰明小学校の風景らしいと、しばし佇んでおりました。そしてふと思ひ浮かんだのが、泰明小資料室にある一枚の写真です。それは、外堀がまだ埋め立てられていないころの泰明小学校校舎を写したものです。校舎の裏側、現在の高速道路側からの写真です。本校の校舎の裏側には、大きなバルコニーが二つあります。これはおそらく、お堀のある景観を意識したものだとは考えています。当時は、このお堀にも、復興した泰明小学校が映っていたことでしょう。

ところで、過日、道徳授業地区公開講座にてご講演をいただいた、株式会社日本香堂ホールディングス会長兼CEO、小仲正久様がSankeiBizの記事に、「小学校は銀座5丁目の泰明小学校に入りました。京橋から数寄屋橋に向かい、その当時あった川沿いというか外堀沿いを歩いて通っていました。……校舎は今と変わらず、鉄筋コンクリートでアーチ型の窓が特徴的でした。」と述べられています。外堀沿いに建つ校舎の威容が想像できます。

さて、この復興校舎ですが、どのようにして敷地を確保したのかという経緯が、第21代栗原九十郎校長先生が、開校100周年を記念して編集された「泰明百年ものがたり」に記載されています。大正15年5月から、まずは、外堀沿いに走っていた市電外堀線の山下駅より数寄屋橋までのレールを堀の上に架橋して迂回させ、その撤去した跡地の土地を購入し、従来、校舎があった土地と合わせて、現在の校地と交換して入手したということです。この遠大な構想が泰明保護者の皆様の勇断、奔走によって進められたのでした。大正時代の古地図を見ると確かに、旧校舎の南西から北西にかけて鉄道が敷かれています。それを堀の上に迂回させたのですね。

泰明小学校は、街の発展を願う銀座の地において高さを求める地元人々の要望と、東京の中心地に公立学校をと行政の意見が一致してできた、いわば、国家的、郷土的願いを建学のときより背負っている学校なのです。「泰明らしさ」の源は、ここにあるのでしょうか。（泰明百年ものがたりより引用）

6月のカレンダー

このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	木		個人面談 体力調査週間始 耳鼻科健診(2・3・6)	
2	金	泰明読書	体力テストソフトボール投げA	
3	土			
4	日			
5	月	講話	委員会活動⑥ 読書週間始A ひさまつ読み聞かせの会④⑤	
6	火	保健講話 (林先生)	プール前健診(希望者) A 学級活動(1)③④	
7	水			B
8	木	縦割り班集会	避難訓練	A
9	金	泰明読書	体力調査週間終	A
10	土		土曜学校公開(3時間授業) 道徳授業地区公開講座 (公開授業①~② 講演会③) 読書週間終	B
11	日			
12	月	講話(プール開き)	水泳指導始 クラブ活動⑥A	
13	火	泰明タイム・読書	地域巡回指導 柳染め(5)③④	A
14	水			B
15	木	泰明読書	社会科校外学習(3)	A
16	金	泰明読書	読書週間終	A
17	土		PTA評議員会	
18	日		インドヨガデー	
19	月	講話	全学年5時間授業	A
20	火	泰明タイム・読書	社会科見学(4)	A
21	水	安全指導		B
22	木	泰明読書	みゆき通り清掃	A
23	金		開校開園記念集会② 研究授業のため6-1以外5時間授業	B
24	土			
25	日		開校記念日	
26	月	講話	委員会活動⑥	A
27	火	泰明タイム・読書	センター教室(3)	A
28	水			B
29	木	泰明読書		A
30	金	ユニセフ集会	定期健康診断終	A

() は学年、○は実施する授業時間です。

校長相談日 6月13日(火)
9:00~14:00



わんぱく相撲大会 優勝 白石 龍之介
6年生の部 3位 平田 匡

体力テストについて

運動委員会 小美野 彩

今年度も6月に体力テストを実施します。本校の昨年度の結果から、全学年・男女ともに20メートルシャトルランの平均値が東京都の平均値を上回っていますが、ソフトボール投げや握力が平均を下回る学年が多く、投運動能力の改善が今後の課題として挙げられました。そこで、4月20日にセントラルスポーツのインストラクターをお招きし、教職員を対象とした投運動能力を伸ばす指導法の工夫や長座体前屈の記録を伸ばす準備運動についてご指導をいただきました。また、後日子どもたちに向けた講習会にもお越しいただきました。この研修会での成果を5月の体育学習の中で実践するとともに、今後、様々な活動を通して、投運動能力等を伸ばす指導を行っていきます。

清掃活動で心育て

生活指導部 高村 弘志

泰明小の清掃活動は、前期と後期にわけて1年生から6年生までの縦割り班で行われます。5月22日には、クリーンデーと称して全校で銀座の街の清掃活動を行いました。暑い日でしたが、子どもたちは班長を中心に一生懸命ゴミを探して、銀座をきれいに守る活動をしました。熱心に取り組む姿に、道行く人から「えらいわね。」「どこの学校？」などと声を掛けられました。

他にも月に1回、みゆき通り清掃や、縦割り班の集会活動などもあり、学校生活での低学年から高学年までのコミュニケーションの基になっています。ただ、一方、体育や専科などでの授業後の後片付けや清掃活動では、「ぼくじゃない」「私はしらない」「えー、めんどくさい」等々、自分には関係がないことを主張して、やりっぱなしにしてしまう子の多いことが気になります。学校の清掃用具についても、子どもたちに「家にほうきある？」と聞くと「ない!」という返事が大多数です。使い方のイロハから学校でひとつひとつ教えています。本校の今年度の校内研究は、道徳です。清掃活動についても考えることがありそうです。

柳染め

5年担任 豊田 雅子

「柳の命をいただきます。」という銀座「もとじ」さんのお言葉から、今年も柳の剪定体験が始まりました。今回は、職員室前と小公園(卒業生が植えたもの)の柳から剪定しました。子どもたちは、「柳の色って、薄緑なんだね。」「枝が太くてなかなか切れない。」など様々な思いを口にしていました。

5年生は、銀座の柳について、毎年総合的な学習(きらきらタイム)で調べています。柳染めの体験は、まず柳についての歴史や取り組みへのお話を伺った後、①柳を剪定する、②染める準備をする(布にビー玉を結びつけ模様をつける)、③柳を煮詰めた染料を使って布を染める、の3つの行程に分かれて行います。

この活動は、泰明小独自の活動で、今年で20回目を迎えることとなりました。そこで、それを記念し、毎年染めの活動を行うにあたり泥を送ってくださっている奄美大島の大勝小学校との交流を行い、更に学習を深める予定です。

柳の命を大切にするとともに多くの人々との感謝とつながりをもって学習していきたいと思えます。

校内研究で「特別の教科 道徳」を取り扱うにあたって

研究主任 大庭 正泰

本校では、来年度から様変わりする「特別の教科 道徳」について、先行的に研究を進めることになりました。

「道徳」の取り扱いについてはマスコミなどでも報じられていますが、大きな変更点としては、平成30年度から「特別の教科」となることが挙げられます。これまでは「教科」ではなく、「道徳の時間」として位置付けられていましたが、教科化に伴い、「議論や対話を通して、考える道徳」へ転換させ、「道徳」について教師が児童を「評価」します。「評価」とは、学期あるいは年間を通して子どもの考えや態度、行動がいかに変容したかについても教師が読み取り、よく行動を観察しご家庭にもお示しすることを意味します。

「道徳」を研究教科に選定するにあたっては、校内の教職員間での度重なる話し合いの中で、最近の本校の児童の公共交通機関の「乗車マナー」、友人関係の築き方など、いくつか惹起している事象なども念頭に置き決定しました。研究の主題には、「将来の自分にアプローチできる力」「子どもを変容させられる道徳授業づくり」なども盛り込んでいます。突き付けた場面で児童の心に葛藤をもたらし、どのような判断をし、どう行動するか、ありのままの自分に対峙し、自分の生き方について、いわば「心のトレーニング」を通して、じっくり考えていくことができるよう、授業づくりを進めていきます。

なお、6月10日(土)には、道徳授業地区公開講座を行い、本校第26代校長多賀義治先生(現・東京都教職員互助会認定講師)による講演会を行うと共に、全てのクラスで道徳の授業を公開します。公開を通して、教職員、地域、保護者の皆様と子どもたちを共に育てていく手がかりにさせていただきたいと考えております。ぜひ皆様、ご参観くださいますよう、よろしくお願ひします。